

# 国民の海への親しみ、 理解の向上について

---

# 戦略的な海事広報への取り組み

(前回のご意見)

「鉄道の日」「トラックの日」等とは異なり、「海の日」の広報はターゲットが絞りきれずぼんやりしてしまっている。もう少し、特化した形で事業を行うべきではないか。

## 現状

- ・国も含めて様々な団体が「海事思想の普及」と称したPR活動を実施。
- ・この結果、「海の日」を中心に各地で多数の事業が行われているが、テーマが拡散してしまったり、重複していたりする例も多く、浸透に限界。

海運の重要性・  
海の魅力等

国土交通省・海事広報協会 等

外航船員確保

海運の重要性

船主協会・JCRWEプロジェクト 等

内航船員確保

海運の重要性

内航総連・船対協 等

海の魅力等  
(ポートやヨット等  
の海洋レジャー)

UMI協議会 等



## 今後

海運の重要性

海の魅力等

各団体が行っている活動の内、共同で取り組める戦略的な「統一テーマ」を設定し、具体的に訴求ポイントを明確にして重点的、戦略的な広報活動を実施する。

**映画やアニメ・歌・新聞全面広告等 大規模PRが可能に！**

# 時代に合わせた広報内容・手法の導入

## (前回のご意見)

子供たちには、防災、環境、IT、英語等、様々な教育が求められており、海事だけなんとかして下さいと言っても難しい。世の中のエポック等をきっかけとして働きかけていく等でないと受け入れられないのではないか。

## (前回のご意見)

海についての国民の意識を高める契機はいくらでもあるのではないか。

- ・海や船員に関係するヒット映画等とのタイアップ
- ・マドロスもの等、かつてのヒット曲のカバー 等

## 現状

- ・ポスターやリーフレット、体験航海等、従来型のイベントが中心。
- ・海に関連するヒット作品等があるが、十分に活用されていない。
- ・学校教育の現場との連携も十分とは言えない。

## 今後

- ・社会的な関心に着目した広報の展開（災害時輸送、エネルギー輸入の急増等）
- ・従来のポスター・リーフレットに加え、アニメ・ドラマ、ゲーム、音楽、ゆるキャラ等、時代に合わせた広報メディア・手法を導入（若い世代の感性への訴えかけ）
- ・学校教育や社会教育現場との連携強化（海関連のイベントへの参加の呼びかけ等）

## 音楽

- ♪ 美空ひばり「ひばりのマドロスさん」、「浜っ子マドロス」等
- ♪ 小林旭「ほらふきマドロス」、「横浜マドロスストーリー」等

## 映画・アニメ



- 崖の上のポニョ  
父耕一は30歳。内航貨物船「小金井丸」船長。
- ひみつのあっこちゃん（第1話）  
パパは豪華客船「日本丸」の船長  
ほか、「コクリコ坂から」、「海猿」等

## 絵画コンクール等

## 学校教育との連携を強化



←  
絵画コンクール  
→  
ジュニアシッピング  
ジャーナリスト賞



## 海洋少年団の活性化

## 学校教育や社会教育活動と連携強化



## ゆるキャラ等

(J-CREWプロジェクト)



## 現状

- 従来より「海の日」を中心に、海への親しみや理解を向上させるための取り組みを官民で実施
- しかし「海の日」については、制定後20年近く経過する中で「国民の祝日」としての趣旨が必ずしも浸透しているとはいえない状況

## 今後



- あらためて「海の日」について、政府としての強いメッセージを発出する
- これに合わせて、官民で戦略的に広報を実施する

### 「海の日」の趣旨

「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国家日本の繁栄を願う日」として平成8年に7月20日が「海の日」として祝日化され、平成15年の祝日法改正により7月の第3月曜日が海の日とされた。

7月20日とされた経緯は、明治6年に明治天皇が東北巡幸の帰途中、青森から灯台巡視船「明治丸」に乗船され函館に渡り、その後、7月20日に横浜港にご安着された故事に由来。昭和16年に7月20日が「海の記念日」と制定された。

### 総理大臣からの発信

平成18年から『「海の日」を迎えるにあたっての内閣総理大臣メッセージ』を発信しているほか、今年度から首相官邸「総理フェイスブック」で「海の日」関連メッセージも発信



### 「世界海の日」パラレルイベント

IMO「世界海の日」は、海運の安全や海洋環境の重要性についての社会認識を高めるため1978年に創設。

2005年から、「パラレルイベント(セミナーやシンポジウム)」が加盟国で開催され、IMO事務局長等のIMO関係者や各加盟国の海事関係者が多数来訪。

2015年のパラレルイベントが初めて日本で開催されることが決定したため、今後、海の日との相乗効果を図るべく7月中に関連行事を開催することを検討。

# 海洋観光・海を身近に懇談会

## 現状

○我が国は海洋国家であり、そこから沢山の恩恵を受けているにもかかわらず、国民の海への理解は必ずしも十分ではなく、海は身近な存在とはなっていない現状。

## 今後

- 海に関心を抱かせ、クルーズ、マリンレジャー等の海洋を活用した観光を振興させることにより、我が国の海事産業の発展が図られるため、有識者より意見を聴取し、意見交換を行う「海洋観光・海を身近に懇談会」を設置し、今後の海事行政に逐次反映させていく。
- 懇談会の模様については、実際のヨット乗船風景や旅客船の見学（コックピット等）の写真等、通常、国民の目に触れる機会が少ないものも、逐次ホームページやフェスブックで情報等を発信し海事関係者のみならず、広く一般の関心を高めることとする。

この懇談会を通し、海の魅力・海の素晴らしさを皆様にお伝え致します！！



海洋観光・海を身近に懇談会フェスブック

<https://www.facebook.com/umiwomidikanikonndannkai>



葉山マリーナでヨット体験



ジェットフォイルのコックピット見学

### 海洋観光・海を身近に懇談会委員名簿（順不同：敬称略）

(座長) 矢ヶ崎 紀子	東洋大学 国際地域学部 准教授
楓 千里	(株) JTBパブリッシング 執行役員
田久保 雅己	(株) 舵社 常務取締役・編集長
なぐも 友美	にいがた観光カリスマ、フリーバスガイド
仁田 一郎	瀬戸内海汽船(株) 代表取締役社長
林 浩志	(一財) 漁港漁場漁村総合研究所 第一調査部次長
星野 敏男	明治大学経営学部教授
守谷 慎一郎	東京観光汽船(株) 代表取締役

### 第1回懇談会 平成26年9月19日 於：葉山マリーナ

- (1) 葉山マリーナの取り組み  
(株) 葉山マリーナー社長 長岡 紀雄 氏
- (2) ヨットやボート等の面白さ及び魅力  
(株) 舵社 常務取締役・編集長 田久保 雅己 氏

### 第2回懇談会 平成26年10月22日 於：竹芝桟橋で開催

- (1) 東海汽船の概要及び離島の船旅の魅力  
東海汽船(株) 旅客部長 山川 哲夫 氏
- (2) 海洋観光の課題と方向性  
東洋大学国際地域学部准教授 矢ヶ崎 紀子 氏
- (3) 離島におけるブルー・ツーリズムや漁村との交流等  
(一財) 漁港漁場漁村総合研究所第一調査研究部次長 林 浩志 氏